

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【公表番号】特表2012-519623(P2012-519623A)

【公表日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2012-034

【出願番号】特願2011-553001(P2011-553001)

【国際特許分類】

B 6 0 R 21/20 (2011.01)

F 1 6 B 19/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 21/20 1 0 0

F 1 6 B 19/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月1日(2013.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アクセサリーを車両パネルに固定するためのクリップであって、該クリップは金属その他のプレート材料をプレス加工して形成された略矩形の基部(2)を具備し、該基部の両側部から複数の可撓性フィン(4)から成る弾性固定構造が突出して成るクリップにおいて、

下側に設けられ上方に延びる第2のフィン(5)に対して、上側に設けられ逆方向に下方に延びるフィンを具備し、

対向する中間部品の端部接觸によって形成される矩形の補強ケース部(6)が前記基部(2)に隣接した領域に設けられ、

前記固定パネルに対して弾性的に作用する複数の固定腕部(3)が、それぞれ前記基部(2)の端部から延設されており、

前記矩形のケース部(6)は、前記中間部品の各々の各側部に1つ設けられたフィンガー部(9)を係合させることによって形成され、

前記フィンガーは、前記ケース部の壁に対して平行に且つ前記ケース部(6)の内側に延在するように、前記対向する部品の縁部に対して略ジグザグ条の二重ひだ様に形成されており、

前記対向する部品の反対側の部品は、同様の構成を有する対称的なフィンガー部(9)を具備しており、

前記固定腕部は屈曲部(10)を具備しており、該屈曲部によって、当初の方向とは異なる方向にラグ部(3)が延在するようにしたクリップ。